

セブン&アイグループの重点課題

セブン&アイHLDGS.は、お客様をはじめとして、お取引先・株主・地域社会・従業員を含めたすべてのステークホルダーの皆様からのご要望、ご期待やご要望に応じていくために、取り組むべき重点課題を特定しています。

セブン&アイグループでは、重点課題を経営の根幹に据え、実効性を担保すべく、各事業会社において事業を通じた重点課題の解決に資する具体的な取り組みを策定しています。ヨークベニマルでも、セブン&アイグループの重点課題の特定を受け、各重点課題に関連する具体的な取り組みとそれぞれの数値目標を設定し、進捗を確認してまいります。

重点課題	関連する具体的な取り組み例
1 お客様とのあらゆる接点を通じて、地域・コミュニティとともに住みやすい社会を実現する	●地域社会に根差した経営 ●「電話で宅配」・ラストワンマイル ●地域との包括協定・災害協定締結 ●子ども食堂への寄付
2 安全・安心で健康に配慮した商品・サービスを提供する	●安全で豊かな社会の実現 ●ISO22000 ●栄養成分・食物アレルギー情報の表示
3 地球環境に配慮し、脱炭素・循環経済・自然と共存する社会を実現する	●環境に配慮した経営 ●環境配慮型店舗の開発・CO₂削減 ●ペットボトル循環型リサイクル・ノントレー ●食品ロス削減、食品廃棄物リサイクル ●認証商品の取扱い拡大
4 多様な人々が活躍できる社会を実現する	●色々な価値観・ライフスタイルを認める社会 ●子育て支援・時短レシピやミールキット開発 ●ノーマライゼーション
5 グループ事業を担う人々の働きがい・働きやすさを向上する	●やりがいと達成感を得られる会社に ●人材育成・パーパス経営(社員の動機付け) ●ワークライフバランス・障がい者・外国人雇用
6 お客様との対話と協働を通じてエシカルな社会を実現する	●お客様と一緒に地域を豊かに ●店舗・商品を通じた情報発信 ●郡山掃除に学ぶ会 ●フードドライブ
7 パートナーシップを通じた持続可能な社会を実現する	●お取引先様と一緒に豊かな社会を実現 ●お取引先CSR監査 ●地産地消・地域商品の開発(県産フェア、地場野菜等)

重点課題

1

お客様とあらゆる接点を通じて、地域・コミュニティとともに住みやすい社会を実現する



災害時協定などの締結

地域の皆さまに対する支援という観点から、災害時における地域のライフラインを担う小売業としての役割を果たすべく、ヨークベニマルは、51の県・市・町と災害など発生時における物資の供給協力などに関する支援協力協定を締結しています(2024年10月現在)。



那須塩原市との災害時協定

支援協力協定を締結している行政

[福島県]

- ・福島県
- ・いわき市
- ・会津若松市
- ・郡山市
- ・須賀川市
- ・田村市
- ・本宮市
- ・富岡町
- ・福島市
- ・南相馬市
- ・矢吹町
- ・小野町
- ・白河市
- ・棚倉町

[宮城県]

- ・宮城県
- ・大崎市
- ・塩竈市
- ・登米市
- ・加美町
- ・栗原市
- ・白石市
- ・仙台市
- ・多賀城市
- ・美里町
- ・岩沼市
- ・東松島市
- ・名取市
- ・涌谷町

[山形県]

- ・山形県
- ・東根市
- ・寒河江市
- ・南陽市
- ・河北町
- ・山形市
- ・米沢市

[茨城県]

- ・茨城県
- ・ひたちなか市
- ・結城市
- ・北茨城市
- ・水戸市
- ・日立市
- ・筑西市
- ・守谷市

[栃木県]

- ・栃木県
- ・大田原市
- ・佐野市
- ・足利市
- ・那須塩原市
- ・鹿沼市
- ・宇都宮市
- ・小山市

●デリバリーサービス「Uber Eats」

ご注文から30分程度で商品をお届けするデリバリーサービス「Uber Eats」を、一部店舗で実施しております。Uber Eatsのアプリからヨークベニマルの商品をご注文いただけます。お客様のお買い物時間の短縮、外出することができない時、今いる場所に必要な食料品や日用品がお手元にすぐお届けできる便利なサービスです。

※「Uber Eats」実施店舗(2024年10月末現在):

ヨークベニマル今泉店(栃木県宇都宮市)、ヨークベニマル宇都宮テラス店(栃木県宇都宮市)、
ヨークベニマル浜田店(福島県福島市)、ヨークベニマル遠見塚店(宮城県仙台市若林区)、
ヨークベニマルフォレオ東仙台店(宮城県仙台市宮城野区)、
ヨークベニマル仙台上杉店(宮城県仙台市青葉区)



●スキャンカート導入

ヨークベニマルでは、一部店舗にAI機能を活用した「スキャンカート」を導入しています。商品バーコードをスキャンするタブレットや重量センサーを搭載したショッピングカートで、お客様自身が商品をスキャンしながらお買物をして、専用のセルフレジでお会計します。非対面で、買い物時間の短縮ができます。

※「スキャンカート」導入店舗(2024年10月末現在):

ヨークベニマル片平店、日和田店、
八山田店、富久山店、桑野店、門田店、築瀬店、
宇都宮テラス店、つくば竹園店、市名坂店、
石巻蛇田店、小山ゆうえんち店、保原店、取手戸頭店、
仙台上杉店、上厚崎店、いわき平店、福島西店、
伊達店、鹿沼店



●福島県「宅配ロッカー活用プロジェクト」への参画

ヨークベニマルは包括連携協定を締結している福島県と連携し「宅配ロッカー活用プロジェクト」に参画いたしました。宅配ロッカーを店舗に設置し、物流会社と連携することで自宅以外での荷物の受け取りが可能となり再配達削減にもつながる取り組みです。

※「PUDO(プドー)ステーション」Packcity Japan株式会社様(本社:東京都千代田区)が設置する

宅配ロッカーの運用店舗(2024年11月末現在):福島県内28店舗

※詳しくは、Webサイト「福島県地球温暖化対策ポータル」内

「みんなでアクション! 宅配ロッカー活用プロジェクト」をご参照ください

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ontai/logistics2024.html>



宅配ロッカー活用プロジェクト記念セレモニー(2024年6月1日)



宅配ロッカー活用プロジェクトオリジナルデザイン